stera transit富良野MaaS推進事業｜ stera transit富良野MaaS協議会

2026/2/20

目的　：地域課題解決に向けたソリューションの提供とデータ活用

- ふらのバスへ、クレジットカード等のタッチ決済での乗車を可能にするstera transit導入し、交通機関の1日乗車券や企画乗車券の購入・利用ができるPass Caseアプリでの企画券を発行。
- 企画乗車券に付帯する特典として同じ市域の富良野タクシークーポンと地元のお菓子屋の特典クーポンを実装することで富良野市民ならびにインバウンドを含む観光客へ向けた最適な移動のソリューションを提供した。
- さらに、これらのサービスの利用データと消費分析データを掛け合わせることで、富良野市やふらの観光協会等へ交通計画や観光施策を検討する機会の創出を目指す。

事業内容： 2つのソリューション活用とデータ分析

【①stera transitの導入】

- ふらのバスの路線バスへstera transitの導入を実施した。

【②Pass Caseの導入】

- ふらのバスの乗車券×富良野タクシークーポン/地元菓子やの特典券の導入を実施した。
- 本事業実装に伴い、マルチモーダルな交通利用の促進を目的にタクシークーポン(交通用クーポン)の機能開発を実施した。

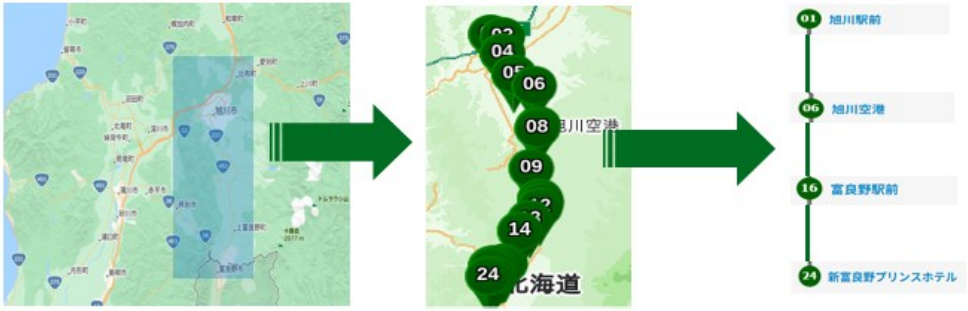
【③データ分析ダッシュボードの発行、レポーティング分析を実施】

- 乗降データに加えて利用者の属性や消費行動を確認できるダッシュボードを導入。また消費行動等のレポーティングを実施し、企画券や割引施策の有効性分析等に活用。

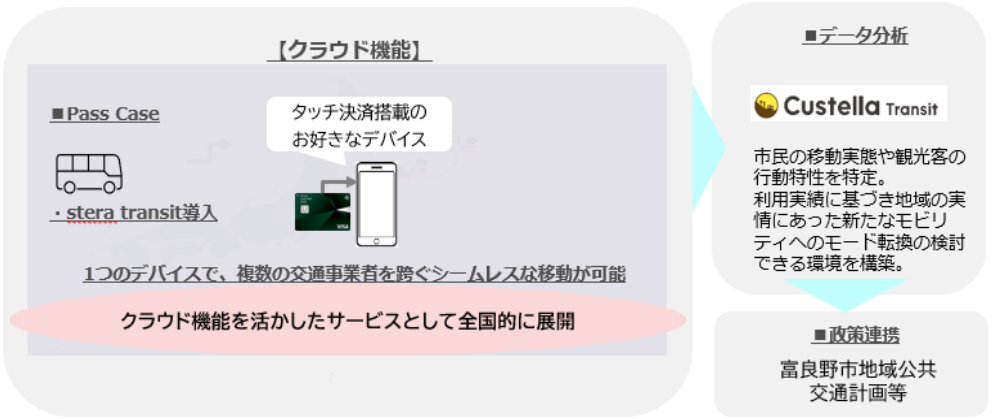
効果

- 課題:富良野市民ならびにインバウンドを含めた旅行客にとって、移動におけるキャッシュレスの手段が限定的であり、利便性が低かった。
- 本事業によりキャッシュレス比率が10%超増加。インバウンド旅行者へのオペレーションの軽減により、乗降時の時間が平均5分程度軽減し、乗務員の効率化を実現。

【実施エリア】

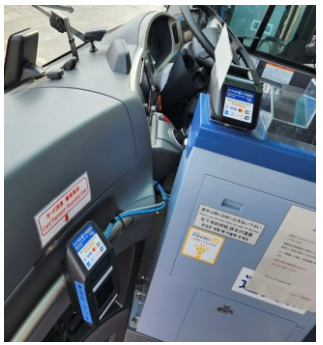


【本事業の取組の全体像】



【stera transitの利用風景】





【Pass Case企画券画面】



Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.

stera transit富良野MaaS推進事業｜ stera transit富良野MaaS協議会

プロジェクトの効果

課題に対する効果

#	課題	効果
1	ふらのバスでのキャッシュレス比率が低く、現金比率が高止まり	本事業によりキャッシュレス比率増を達成見込
2	市域での交通手段が限定的で利便性が低い	Pass Caseでのバス利用者をタクシー事業者へ誘導することで移動範囲が拡大
3	インバウンド観光客の案内	stera transit導入による乗務員の案内の簡素化による負担軽減を実現

KPI

【凡例】 赤字:目標達成　青字:目標未達成

#	測定項目	KPI	計測方法	計測頻度・回数	事業実施年度の目標値	最終結果	達成/未達成の原因
1	MaaSアプリでのチケット購入者数	MaaSアプリ販売数	Pass Caseデータにて確認	稼動1か月経過後	100件/1か月	10件/1か月（見込）	・ユーザーへの浸透までの時間が不足していた ・片道乗車券という商品性がユーザーのニーズとマッチしなかった
2	ふらのバスのstera transit利用者数	タッチ決済乗車人数	QUADRACのODデータにて確認	稼動1か月経過後	500件/1か月	7,130件/1か月（見込）	・市民に対するプロモーションの効果 ・冬季の海外滞在者による利用増の効果 ・本州からの観光客による利用増の効果
3	富良野タクシーのタクシークーポンの配布数	MaaSアプリクーポン配信数	Pass Caseデータにて確認	稼動1か月経過後	100枚/1か月	10件/1か月（見込）	・ユーザーへの浸透までの時間が不足していた ・片道乗車券という商品性がユーザーのニーズとマッチしなかった

MLIT Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.